

プレスリリース

2011年9月20日(火)

東京新聞 朝刊 22面 地域の情報 都心

ラオスへ送る翻訳 絵本作りませんか

来月8日 支援NPO法人が催し

東南アジアのラオスで教育支援をする大田区の認定NPO法人「ラオスのこども」は十月八日、翻訳絵本を作るイベント「ラオスの絵本カフェ」を、ラオス西馬込(西馬込)で開く。当初は日本語の絵本をそのまま送っていたが、九三年ごろからはラオス語の訳文を書いたシートを貼つて送っている。ボランティアが訳した本は「ぐりとぐら」「モチモチの木」など約九十種類。

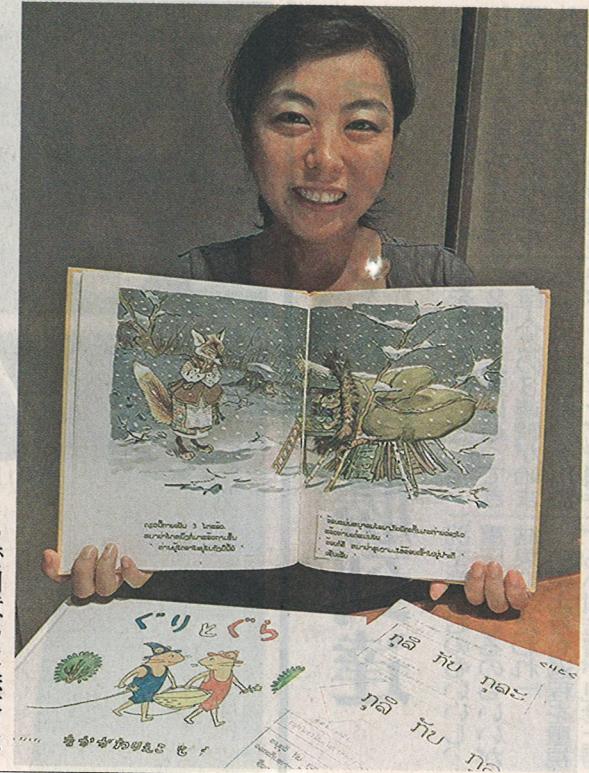
NPOの前身は、一九八二年、ラオスから留学し区内に住んでいた共同代表のチャンタソン・インタヴァンさん。イベントでは、NP

の活動を知つてほしい」としている。NPOの活動をつけては、NPOの前身は、一九八二年、ラオスから留学し区内に住んでいた共同代表のチャンタソン・インタヴァンさん。イベントでは、NP

で年約七百冊にシートを貼り、学校や図書館に届けている。

企業や学校などの協力で年約七百冊にシートを貼り、学校や図書館に届けている。

事務局||電03(3755)1603||へ。類似イベントは同月十四、十五日に「こらぼ森(大森西)」でも計画している。



絵本カフェで作るラオス語訳を貼った絵本=大田区